

【別紙様式】

久慈市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	三陸鉄道運行支援事業負担金		
総事業費 (千円)	10,647千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	10,647千円
事業概要	①目的 新型コロナウイルス感染症の影響により減収となっている三陸鉄道株式会社について、その継続を図り、三陸鉄道株式会社の縮小・廃止等による久慈市民への生活への悪影響を回避する。 ②交付金を充当する経費・算定根拠 支援金：10,647千円 $190,000\text{千円（支援金総額）} \times 5.6\% = 10,647\text{千円}$ （県1/2、沿線市町村1/2（負担割合は出資額・財政力・人口・駅数で按分）） ③交付対象 1）交付対象者 三陸鉄道運行事業（三陸鉄道株式会社）1者 2）交付対象者の選定理由・選定方法 三陸鉄道は、公共交通機関として地域住民の足となっているが、観光振興においても重要な役割を担っており、事業の縮小、廃止等は、久慈市民の生活に移動手段の減少、地域経済の悪化という形で悪影響を及ぼすため、三陸鉄道運行事業の唯一の実施主体である三陸鉄道株式会社を交付対象者として、支援金を交付する ④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、三陸鉄道運行事業の継続が図られることにより、久慈市民の移動手段、地域経済の循環が維持され、その生活の安定が確保される。		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	三陸鉄道運行事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う利用料金等の大幅な減少により、令和2年の業績が、190,000千円不足する見込みとなり、このままでは、事業の継続が困難な状況に陥っている。 三陸鉄道株式会社交付対象者として支援金を交付し、三陸鉄道運行事業の継続を支援する本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。		